

# 令和7年度事業報告

## I 概要

令和7年度の我が国の経済は、米国の関税引き上げによる影響がみられたが、内需を中心に緩やかな回復が続きました。

しかし、賃金上昇を上回る食料品などの物価高と、イラン危機によるエネルギー価格の高騰で物価上昇が進み、景気回復は弱い状態が続きました。

当センターでは、会員数が少し増えたものの受注件数の減少などにより厳しい状況でありました。このような中、行政、企業、市民の方々のご理解とご協力を賜りながら、就業・生きがいづくり、健康づくりの場の創出と提供を行い、会員及び役職員が一体となって効率的な事業運営と経費節減に取り組み、センター事業の充実発展に懸命の努力をしております。

その結果、受託事業それと派遣事業、合わせたところの契約額が前年度を 5,342,289円上回り 112,844,009円の実績となりました。

また、各委員会の取り組みについても、事業推進年間計画に沿って活動を実施することができました。各地域での懇談会の開催や会員による奉仕活動の実施、「まつり」での出店などを行い、センターの就業開拓や新規会員の募集などのPRに努めたところであります。

今後も、シルバー人材センター基本理念のもと、市全域において事業運営の整備拡充を図り、更なる会員の意識改革と就業開拓、会員数の拡大、安全就業の確保、そして会員どうしの親睦と融和に努め、地域に定着し市民に信頼されるシルバー人材センターを目指し、努力を続けてまいります。

## 1. 実施事業収入について

受託事業として、民間の契約額が45,157,458円、公共の契約額が20,708,321円、派遣事業の契約額が46,978,230円、合計112,844,009円となっており、前年度と比較して5,342,289円の増となりました。

### 区分別実績

区 分		件数(件)	契約金額(単位：円)
請負・委任	企業等	116	30,141,592
	個人	485	15,015,866
	公共	48	20,708,321
小 計		<b>649</b>	<b>65,865,779</b>
派遣事業		<b>8</b>	<b>46,978,230</b>
実施事業計		<b>657</b>	<b>112,844,009</b>

## 2. 受注件数について

657件で、前年度比 46件の減となっております。その内訳は、民間 601件(前年度比36件減)・公共 48件(前年度比10件減)・派遣事業 8件(前年度比同じ)となっております。また、年度間の就業延人日数については派遣事業を含め 12,674人日で、前年度より 71人日の減となっております。

## 3. 会員数について

新入会員 18名、退会会員 9名で、年度末計 189名(内訳：男性 135名・女性 54名)で、前年度より 9名の増となっております。

なお、会員の平均年齢は男性 75.2歳、女性 76.7歳、全体 75.6歳となっております。

#### 4. 事故の状況について

保険適用事故は、傷害 3 件、物損 1 件となっております。

##### 傷害保険適用

発生年月日	傷害部位	発生時の状況	加療日数
令和7年4月29日 (1件)	右膝後縦靭帯付 着部剥離骨折・右 脛骨近位端骨折	社内の洗面所を清掃作業中に段 差に躓き転倒して右膝を打ち骨折 した。(骨折)	通院 2日 入院47日
令和7年7月4日 (1件)	左手甲蜂刺され	公園の除草作業中にアシナガ蜂 から左手甲4、5ヶ所を刺された。 (虫刺され)	通院 1日
令和7年11月10日 (1件)	左前腕裂創	垣根の剪定を電動チェーンソーで 行っていた時、手元が滑り左前腕 を切った(裂創)	通院 7日

##### 賠償責任保険適用

発生年月日	発生時の状況及び原因	損害賠償
令和7年9月17日 (1件)	建物の西側を刈払機で草刈り作業中、建物脇 に有る水道管に気づかず切断した。	59,400円

## II 令和7年度事業実施計画の取り組み

### 1. 地域社会の活性化への貢献

- (1) 会員の知識・経験・技能・生活の知恵を活かし、地域社会に貢献するため、事業の実施に努めました。
- (2) 高年齢者が福祉の受け手ではなく、センターが地域で働く機会の開拓と生きがいづくりの受け皿として役目を果たしてまいりました。
- (3) 健康で働くことによって、医療費や介護福祉費の抑制に努めました。

## 2. 組織の体制強化と会員の自主活動の推進

- (1) 組織・事業活動の諸課題について、理事が役割を各々分担し、責任を持って積極的かつ自主的にセンターの事業運営に取り組みました。
- (2) 理事と会員で構成する総務・事業・就業開拓・広報・安全対策・女性の各委員会の自主活動を推進し、会員主導による事業運営を行い、共働・共助の就業の徹底、安全就業の徹底と未就業会員の就業を促す取り組みを行いました。
- (3) 市内8地区(6会場)で地域懇談会を実施して、会員の責務と自主運営についての認識を高めるとともに、要望意見を聴取しました。
- (4) 会員のための、レクリエーション(日帰り交流会)を実施し会員の福利厚生の実に努めました。
- (5) 就業にあたっては、発注者の身になって働き、お互いが満足できる仕事の請け手を目指し、サービスの向上に努めました。
- (6) 会員・職員の飲酒運転撲滅のため、運転前後のアルコール検知器によるアルコールチェックを行いました。

## 3. 会員数の拡大

- (1) 意欲ある会員の拡大を図るため、能力・知識・経験の面から幅広い層からの入会を働きかけ、特に人手が不足気味になりがちな職種に絞った募集に取り組みました。(新規加入会員 18名)
- (2) 地域の潜在的な会員を掘り起こすため、会員自らの『口コミ』による加入促進を展開しました。
- (3) 会員募集のため、市内全世帯にチラシの配布と年1回市報「まつうら」への掲載、またメディアへ行事等の情報提供を行いました。
- (4) 退会会員の抑制として、『会員増加に向けた取組事例集』などを参考に、積極的に取り組みました。
- (5) ゴールド会員制度及び夫婦会員制度により、会員の退会抑制、新規会員の獲得と会員数の維持拡大を図りました。
- (6) 長崎県シルバー人材センター連合会が行う『高齢者活躍人材確保育成事業』による、スマホ教室や接遇講習、刈払機取扱講習を開催し入会促進に取り組みました。

#### 4. 普及啓発活動の推進

- (1) 関係委員会を中心に、事業推進年間計画を策定し、会員及び地域への普及啓発推進を図りました。
- (2) 会員自らが就業開拓者として、地域において就業開拓活動を行う（1人の会員が1つの仕事を探す）『1・1（いちいち）運動』を、各地区において展開しました。
- (3) センター広報誌及びチラシを作成し、就業開拓及びセンター事業の普及啓発活動に努めました。
- (4) センター事業を、市民へアピールするため、各地域（8ヶ所）において公共施設清掃等の奉仕活動を実施しました。
- (5) 「松浦水軍まつり」や「福島ふるさと祭り」で、チラシを配布するなど宣伝活動を実施しました。

#### 5. 就業機会拡大・多様化と会員研修の推進

- (1) 高齢者への雇用や就業機会の確保、提供を行うため「請負・委任」「労働者派遣」各事業の拡大に取り組みました。
- (2) 就業機会拡大のため、行政及び各企業訪問を実施しました。
- (3) 会員が、会員のためのシルバー人材センターであることの認識を高め、効率的な事業運営と、就業機会の開拓に積極的に参画する環境づくりに努めました。
- (4) 各種講習会を開催し、会員の責務についての意識改革と各種技能の習得・向上を図り、対応職種を幅を広げるよう努めました。  
具体的には地域懇談会でDVD（のぞましいコミュニケーションのために）を活用した研修会の開催、高齢運転者体験型講習にも積極的に参加をしました。
- (5) 女性会員の自主活動を推進し、女性会員の入会を促進するとともに、就業機会の拡大を図りました。
- (6) 行政における指定管理者の指定を受け、「福島地域レクリエーション施設」及び「大山公園・蛙鼻公園」の施設管理を実施しました。

## 6. 安全・適正就業対策の強化

- (1) 安全対策委員会を中心に、安全対策推進計画を策定し、安全管理体制の確立と就業中の現場巡回指導を行いました。
- (2) 作業用安全用具の普及と促進を図り、安全就業への会員意識の向上を図りました。
- (3) 会報・チラシによる安全就業、健康増進への意識啓発に努めました。
- (4) 健康で働くために、定期的に健康診断を促し、自己の健康管理に努めてもらいました。
- (5) 始業前のミーティングの徹底と『安全就業チェックシート』の徹底により安全就業に努めました。
- (6) ローテーション就業、会員どうしが仕事を分け合うワークシェアリングの推進、また、長期継続就業の是正を行い就業機会の均等化に努めました。
- (7) 『シルバー人材センターのガイドライン』を遵守し、雇用とみなされる就業に対しては、受注リストによる点検を行い適切に対応しました。

以上の取り組みを行いましたが、保険適用の事故が傷害事故、物損事故合わせて4件発生をしております。

## 7. 契約方法の見直し

令和8年4月から新しい契約方法(包括的契約)に移行するために、契約方法の見直しの情報交換会議などに参加し関係規程等の検討を行い、会員等への周知や関係規程等の整備を行いました。

また、市関係各課や会社等の訪問をして、包括的契約について説明を行い理解を得ております。

## 8. 第3次中期事業計画の策定(令和8年度～令和12年度)

総務委員会を中心に、第2次中期事業計画の検証をして、第3次中期事業計画の検討を行い策定しました。